

機構ホームページ掲載用原稿

団体名	北海道教育大学						
事業名	留学生の文化的多様性を活かした異文化コミュニケーション活動の展開						
実施期間	2025（令和7年）5月～2026年1月						
場 所	北海道（道南地域および札幌地区）の小中学校および北海道教育大学函館校						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	21	9	3	450	2	0	485名

<実施内容>

アジアを中心とする世界各国・地域出身の留学生が保有する豊かな言語や文化背景を活かし、様々な外国語を用いて留学生と共に異文化コミュニケーションを行う活動である。教員養成課程の学生と留学生が協働しながら、マレー語、中国語、ベトナム語など、留学生の母語を活用した多言語・異文化コミュニケーション活動を企画し、地域の小中学校において留学生派遣型の出前授業（あるいは小中学生の受け入れによる大学での授業提供）として実施するものである。教職課程の学生が留学生と協議しながら活動案を共に作成することで、双方の相互理解が深まり、協働による地域貢献が実現する。

この取り組みを通じて、学生は多様な言語文化に触れながらグローバルな視野を広げることができ、留学生にとっても日本の学校文化や教育観を理解しつつ、自国文化を再認識する機会となる。また、作成した活動案は記録として蓄積し、国際理解教育の教材として地域の教育現場で共有・活用することが可能である。2025年度は、9か国21名の留学生が本プログラムに関わり、北海道の子どもたちおよび教職員等の地域住民450名に対して、活動を提供することができた。毎回の活動後にアンケート調査を実施したところ、子どもたちの異文化や外国語学習への興味関心の喚起に顕著な効果があり、文化的多様性に対して主体的な学習意欲が確認された。

<記録写真>



児童にコーランを見せる留学生



留学生とアジアの多言語の触れる活動



子どもたちと触れ合う留学生たち

<参加者からのコメント>

Husnaさん（マレーシア）

It was really fun to see the students' reaction when I shared about my country. A few of them even told me about their experience coming to Malaysia and that made the conversation livelier. I personally feel like this kind of interactive class is really helpful for the students not only in improving their listening in English, but also in encouraging their curiosity to learn more about different cultures.

Doanさん（ベトナム）

この授業の目的は、私の国の文化を小学生のみんなに紹介することでした。子どもたちにベトナムの文化を伝えることができ、光栄に思いました。子どもたちからたくさん質問をもらえて、私の話に興味を持ってくれたことが分かり、とても嬉しかったです。交流授業を通して、やはり「雰囲気」が大事だと思いました。私の伝え方が楽しいかどうかで交流の成功が決まるし、子どもたちが興味を持つかどうか変わります。質問の多さも、私の内容がどれだけ面白かったかの表れだと思いました。出前授業は、本当に私にとって意味のある素敵な経験でした。

英語名称（英語版作成用）

団体名	Hokkaido University of Education
事業名	Implementing intercultural communication activities utilizing the cultural diversity of international students